



令和7年度「地域発 元気づくり支援金」(木曽地域) 24事業が内定しました

「地域発元気づくり支援金」交付要綱に基づき開催した木曽地域選定会議の意見を踏まえ、下記のとおり内定しました。

1 事業区分別の選定状況

(単位：千円)

事業区分		選定状況		
		件数	支援額	事業例
1	地域協働の推進	3	2,755	南木曽町 地域ねこ共生事業
2	保健、医療、福祉の充実	0	-	-
3	教育、文化の振興	7	14,954	木曽フィールドミュージアム、大桑村歴史民俗資料館企画等を活用した地域活性化
4	安全・安心な地域づくり	1	3,960	木曽地域におけるドローンを活用した住民支援基盤構築事業
5	環境保全・景観形成	2	1,969	御嶽山古道再生事業
6	産業振興、雇用拡大 (小計)	10	20,322	
(1)	特色ある観光地づくり	8	17,218	御嶽山田の原誘客促進事業、木曽森林鉄道再生事業
(2)	農業の振興と農山村づくり	1	1,124	木曽町特産農産物生産基盤強化事業
(3)	森林づくりと林業の振興	1	1,980	木曽の森情報連携発信事業
(4)	商業の振興	0	-	-
(5)	その他	0	-	-
7	市町村合併に伴う地域の連携の推進	0	-	-
8	その他地域の元気を生み出す地域づくり	1	1,918	いつまでも住み続けられる魅力ある故郷づくりプロジェクト第2弾
合計		24	45,878	

2 事業区分別の選定状況

(単位：千円)

申請者区分	件数	支援額	備考
町村	11	19,042	
広域連合	4	9,134	
公共的団体	9	17,702	地域づくり団体等
合計	24	45,878	

【参考】

木曽地域の要望状況：14団体から24件（計45,936千円）の応募がありました。
(一部対象経費の査定後、全て採択)

確かな暮らしを守り、
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン3.0
～大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために～

[長野県総合5か年計画推進中]

(問合せ先)

長野県木曽地域振興局 企画振興課
(担当) 逸見、上沼

電話 0264-25-2212 (直通)

FAX 0264-23-2583

E-mail kisoichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

令和7年度「地域発 元気づくり支援金」（木曽地域） 採択事業一覧表

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費（千円）		支援金 内定額 (千円)	新基準 区分	重点 支援 対象 事業 区分
							うち 支援金 要望額			
1	地域協働の推進	ソフト・ハード	森林軌道跡等を活用した観光地整備事業	木曽町	開田高原末川地区において、森林軌道敷跡や森林鉄道機関車等の地域資源を郡内林鉄関係団体※と連携して活用しつつ、点在する観光施設・飲食店等をつなぐ散策路や周辺の植栽を地域住民との協働で整備し、地域の魅力を高める。 ※別事業(No.12,19)と関連 ①桜・紅葉樹の植栽599千円、林鉄機関車等塗装修繕1,291千円、森林軌道跡等散策路整備(電気柵移設)68千円 ②森林軌道跡等散策路整備(案内版設置)416千円	2,373	1,744	1,744	新基準A	
2	地域協働の推進	ソフト・ハード	木曽町まちづくり創造事業	木曽町	木曽町内の小学生向けに授業の一環としてレゴブロックを使って理想のまちを考えるワークショップを行い、将来的には行政や地域がその理想の実現に取り組む姿勢をフィードバックすることで、地域への愛着形成を図り、まちづくりへの主体的な参画のきっかけを作る。 ①・②レゴワークショップ開催869千円	869	651	632	新基準B	
3	地域協働の推進	ソフト	南木曽町 地域ねこ共生事業	ねこの会 なぎそ	南木曽町において、野良猫の繁殖を制限するTNR活動(野良猫を不妊・去勢手術後、元の場所に戻す手法)を勉強会や啓発活動と合わせて行うことで、地域住民の理解や協力を得つつ、野良猫が管理された「地域猫」として共生できる地域づくりを目指す。 ①TNR活動403千円、広報啓発102千円	506	379	379	新基準A・B	
4	教育、文化の振興	ソフト	木祖村DX推進事業～みんなで学ぼうデジタル技術～	木祖村	高齢者向けスマートフォン教室や木祖村デジタル寺子屋といった取組を通じ、地域住民がデジタル技術をテーマに日常的に集まる居場所づくりを行うとともに、高齢者等のデジタルデバйд対策、小中学生のプログラミング教育、高校生から社会人世代に対するDXの推進を図る。 ①スマートフォン教室運営委託1,918千円、デジタル寺子屋運営委託990千円	2,908	2,181	2,181	新基準B	
5	教育、文化の振興	ソフト	大学生等スポーツ合宿関係人口拡大事業	木曽町日義地域自治協議会	首都圏等の大学が参加する「大学応援団フェスタ」を誘致し木曽町内で開催する。事前合宿やフェスタ開催前後には、地域住民と学生との交流や町営トレーニングセンターの利用を通じて大学や実業団のスポーツ合宿の誘致を働きかけ、関係人口の拡大を目指す。 ①大学応援団フェスタ開催2,252千円(事前合宿含む)	2,362	1,801	1,801	新基準A・B	4・関係人口の創出拡大
6	教育、文化の振興	ソフト	つながるつなげる「木祖村ご当地ボードゲーム」制作事業	木祖村	木祖村の魅力を発信するツールとして、ご当地ボードゲームを制作する。村内の子どもたちをはじめ、村のことをよく知る住民と一緒にワークショップ形式でゲーム内容やコンセプトを考え、コマやカード等のアイテムを制作していく。ゲーム制作と並行し、ルール説明できる仲間を募り、自発的に村の魅力を発信できるチームとして「キャラバン隊」を立ち上げる。 ①ボードゲーム制作ワークショップ運営委託798千円、キャラバン隊結成・広報484千円	1,282	1,025	1,025	新基準B	4・関係人口の創出拡大
7	教育、文化の振興	ソフト	伝統芸能及び物産展を基点とした地域振興事業	上松町	伊勢神宮の御用材を伐り出す御杣始祭(みそまはじめさい)を契機として、地域外から多くの観光客が来訪する機会を活かし、郡内自治体や民間事業者の協力による物産展を開催する。このなかで木曽地域において継承されてきた伝統芸能の披露を合わせて行うことで、地域の若年層への認知向上、伝統芸能の保存を図るとともに、観光客の更なる集客につなげる。 ①伝統芸能・物産展開催運営委託6,552千円、伝統芸能披露団体謝金1,000千円、木工材料(ゴミ箱制作)660千円	8,313	6,234	6,159	新基準A	
8	教育、文化の振興	ソフト	木曽フィールドミュージアム	木祖村	木曽郡内ミュージアム7か所で連携して「木曽ミュージアム双六はんこラリー」※を開催し、合わせて各ミュージアムで住民参加イベントを企画して相互に広報を行うことで周遊を促す。木祖村では、アーティスト・イン・レジデンスによるサウンドドラマ制作や木曽の暮らしを元にしたオリジナル劇の創作を行う。将来的には各ミュージアム間でつながりを持ちつつ、ミュージアムを起点に住民が木曽の文化や歴史を知り、他者へ発信できる仕組みづくりを目指す。 ※別事業(No.10,15,19)と関連 ①木曽ミュージアム双六はんこラリー実施132千円、木祖村アート・イン・レジデンス委託等1,659千円、オリジナル劇の創作・発表委託496千円	2,288	1,830	1,809	新基準A・B	4・関係人口の創出拡大
9	教育、文化の振興	ソフト	王滝村・長野県立大学包括連携事業「食文化継承事業」	王滝村	長野県立大学の食健康学科の中澤教授や学生たちと地域住民が協働し、郷土食の料理教室や地元の食材を使った新メニュー作り等を行う。また地域住民へインタビューを行い、季節ごとの食べ物を記した「食のこよみ」や郷土食の作り方動画を制作する。新メニューや「食のこよみ」は木曽広域連合の作成するレポート冊子※にも掲載を予定する。 ※別事業(No.18)と関連 ①参加学生宿泊・交通費636千円、大学教授謝金238千円、料理工程動画撮影・制作275千円	1,304	977	977	新基準B	
10	教育、文化の振興	ソフト・ハード	大桑村歴史民俗資料館企画等を活用した地域活性化	大桑村	大桑村歴史民俗資料館が若年層・子育て世代から高齢者まで多くの村民が訪れる、多世代の交流拠点となることを目指し、昭和100年展(住民借用品の展示)や令和の寺子屋(昔遊びを伝授するワークショップ)、伝統芸能等の映像アーカイブ制作、住民参加型の水舟制作・郵便ポスト塗替等を行う。合わせて木曽ミュージアム双六はんこラリー※に参画し、村外利用者との交流増も図る。 ※別事業(No.8)と関連 ①・②水舟制作405千円、村内祭礼・伝統芸能動画製作770千円	1,347	1,010	1,002	新基準B	

令和7年度「地域発 元気づくり支援金」（木曽地域） 採択事業一覧表

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費（千円）		支援金 内定額 (千円)	新基準 区分	重点 支援 対象 事業 区分
							うち 支援金 要望額			
11	安全・安心な地域づくり	ソフト	木曽地域におけるドローンを活用した住民支援基盤構築事業	木曽広域連合	木曽地域におけるドローン活用(災害時の迅速な対応や平常時の物流利用等)を進めるため、R6に新設した郡内発着座標や町内飛行ルートに加えて、新たに町村間運搬ルートの開通や電波不感知地域の確認によりドローンの飛行基盤を強化するとともに、デモフライトや講演会を通じて住民の理解を深め協力者を発掘する。 ①事業運営一式委託4,950千円(町村間運搬ルート開通・電波不感知地域確認・住民向けイベント開催支援)	4,950	3,960	3,960	新基準A	5・先端技術の活用
12	環境保全、景観形成	ソフト	森林鉄道気動車お化粧直し	南木曽鉄道遺産を愛する会	南木曽町太白公園に設置されている森林鉄道気動車及び貨物車のお化粧直しを地域住民や郡内林鉄関係団体の参加により行う(下準備や仕上げは専門業者に依頼)。完了後はお披露目イベントを行い、ミニSLの運行により集客を図りつつ、鉄道と地域との関わりやその歴史を広く周知する機会とする。 ①お披露目イベント899千円、森林鉄道気動車塗装666千円	1,565	1,118	1,174	新基準A	
13	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	御嶽山古道再生事業	特定非営利活動法人御嶽活性化協議会	木曽町福島・三岳地区において御岳古道の「合戸峠」周辺ルートを地域住民と協働で整備するとともに、御岳古道の魅力やトレッキングルートを紹介するウェブページを構築し、国内外から地域への来訪者等関係人口の拡大を図る。 ①トレッキングルート紹介ウェブ制作561千円 ②御嶽山古道整備463千円	1,024	795	795	新基準B	4・関係人口の創出拡大
14	特色ある観光地づくり	ソフト	木曽路ロングトレイル提案事業	木祖村	R6に木曽広域連合で行った木曽路歩行ルート調査検証事業を基に、木祖村におけるロングトレイル(長距離を歩いて楽しむための道・ルート)のコースを提案するため、伊能図(伊能忠敬の残した古地図)をGISデータ化して現代の地図に重ね、地域に埋もれている遺産・遺構や街道筋の見どころを再発見する住民参加型のワークショップを開催する。 ①伊能図GISデータ作成委託891千円	891	712	668	新基準A	
15	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	御嶽山田の原誘客促進事業	王滝村	田の原高原の魅力を高め更なる観光誘客を図るため、R6に引き続き、住民協働による登山道整備や御嶽山の魅力発信イベント(バードウォッチング・湿原ツアー・御嶽崩れ源頭部見学・過去風景資料の展示)を実施する。R7はボランティアが登山道改修作業を通じて事業者から専門工法を学び、将来的に後続へ指導ができるような体制の基礎づくりを進める。 ※別事業(No.8)と関連 ②登山道改修委託2,582千円	2,592	1,721	1,721	従来基準	
16	特色ある観光地づくり	ソフト	日本遺産「木曽路はすべて山の中」ストーリーを活かした広域周遊実証事業	木曽広域連合	木曽地域における広域的な観光周遊を進めるため、観光事業者やボランティアガイド等の地域住民、観光協会等の関係団体、行政が連携し、日本遺産「木曽路はすべて山の中」のブランド認識や広域周遊の課題・取組方針を共有した上で、広域周遊のインタープリター(案内人)となるガイドの育成や広域周遊ツアーのモニター実証を行う。 ①ワークショップ・会議運営一式委託4,400千円、ツアーガイド講座521千円、広域周遊ツアー企画実施579千円	5,500	4,125	4,125	新基準A	
17	特色ある観光地づくり	ソフト	木曽地域の事業者と連携した地域間交流創出のためのPRイベント事業	木曽広域連合	R6の取組(中京・関西で実施)を踏まえ、R7は交流・関係人口のポテンシャルがより見込まれる中京圏に重点を置き、中日ビル(愛知県名古屋市中)で観光PRイベントを複数回開催する。定期開催により季節の食材や催しの紹介を行うとともに、参加事業者がイベントに立ち寄った方との関係づくりを意識して行う機会とすることで新規ファンの獲得に加え、既存ファンにも木曽地域への再訪や定期来訪を促す。 ①観光PRイベント開催798千円	980	638	638	新基準A	4・関係人口の創出拡大
18	特色ある観光地づくり	ソフト	木曽郡における伝統的郷土食文化の継承基盤構築事業	木曽広域連合	木曽地域の郷土料理を伝承するため、食文化に関するストーリーの掘り起こし、料理の作り方を知る地域住民への聞き取りといった調査を行い、レポート冊子を作成する。冊子を活用し、地域住民に向けたメニュー提案発表会や宿泊・飲食施設等の観光事業者に対する郷土食メニュー提供の働きかけを行う。 ※別事業(No.9)と関連 ①事業運営一式委託549千円(取材調査・レポート冊子作成・報告会開催等)	549	411	411	新基準A	
19	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	木曽森林鉄道再生事業	一般社団法人上松町観光協会	赤沢自然休養林のカブース(制動車)について、地元の木工事業者や上松技術専門学校と協力し、森林鉄道現役時の技術に注目した忠実な復元を行う。かんな削りや塗装には地域の児童・学生や鉄道ファン等が参加する。また郡内の林鉄関係団体※1と連携し、現地でしか入手できないトレーディングカード作成・販売や森林鉄道分布マップの刷新など森林鉄道遺産を巡る広域周遊の促進策を展開する。 ※別事業(No.1,12)と関連(このほか(No.8)とも関連) ①トレーディングカード作成238千円、林鉄マップ制作等259千円 ②森林鉄道車両修復・復元5,500千円(+①作業講師等94千円)	6,091	4,597	4,597	新基準A	4・関係人口の創出拡大
20	特色ある観光地づくり	ソフト	上松町インバウンド周遊事業	一般社団法人上松町観光協会	インバウンド観光客の受け入れ体制強化のため、R5から観光事業者等地域住民向けに英会話研修を行ってきた。R7は地域住民の英語力の高まりを受けておもてなし組織を立ち上げるとともに、多くの外国人観光客の来訪が期待される御神木祭(伊勢神宮式年遷宮の御用材伐り出しに伴う地域行事)や外国人向けファムトリップ(観光誘致ツアー)を実践の場として、案内業務等に挑戦する。 ①事前講習・実践研修274千円、ファムトリップ実施150千円、おもてなし組織ユニフォーム制作70千円	494	394	394	新基準A・B	4・関係人口の創出拡大

令和7年度「地域発 元気づくり支援金」（木曽地域） 採択事業一覧表

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費（千円）		支援金 内定額 (千円)	新基準 区分	重点 支援 対象 事業 区分
							うち 支援金 要望額			
21	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	木曽福島駅前・地域交流と体験型観光の拠点づくり事業	木曽マナビネットワーク	木曽福島駅前の空き店舗を改修し、地域交流と体験型観光の拠点として整備する。地域の暮らしや地元食材等を題材とした体験イベントの開催に加え、高校生、起業希望者等が運営に参画できる仕組みを設け、拠点到多様な交流をつくり出す。また地域資源を活用した体験プログラムや滞在型観光プランを提案する「まちあるきマップ」を制作し、郡内外に幅広く配布する。 ①まちあるきマップ作成745千円、体験イベント謝礼・企画委託等962千円 ②駅前拠点の改修3,642千円（＋①備品購入711千円）	6,060	4,665	4,664	新基準B	4・関係人口の創出拡大
22	農業の振興と農山村づくり	ソフト	木曽町特産農産物生産基盤強化事業	木曽町	遊休農地の増加や新規担い手の不足といった課題を解消し、農産特産品の生産基盤の強化を図るため、新規就農者向けに農業インターンシップを行う。R6は赤かぶ・すんきをテーマとしたため、R7はとうもろこしの追肥・収穫を主とし、木曽馬の飼育や星空観察等、地域性のある体験を含めた内容とする。合わせて都市部等で開催される就農相談会に地元農家と出展参加し、新規就農者の確保を目指す。 ①農業インターンシップ実施1,150千円、就農相談会出展318千円	1,468	1,053	1,124	新基準B	4・関係人口の創出拡大
23	森林づくりと林業の振興	ソフト	木曽の森情報連携発信事業	木曽谷流域森林整備推進協議会	木曽地域の森林・林業・木材産業に関係する情報を、産学官の連携のもと、紙面やウェブ、対面イベント等マルチチャネルから一元的に発信する。地域住民等が木曽地域における森林・林業・木材産業の存在意義を再認識し、就学・就業や製品購入などの具体的なアクションを通じて、地域協働の森林づくりや地域材の利用拡大を担っていくことを目指す。 ①情報発信一式委託2,640千円（広報誌掲載・ポスター制作・ウェブ制作・SNS発信・番組制作）	2,640	1,980	1,980	新基準A	
24	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト・ハード	いつまでも住み続けられる魅力ある故郷づくりプロジェクト第2弾	与川地域づくり協議会	R6に行った古道の復元やベンチ作りに続き、住民参加によるふるさと展望広場の修復作業や見どころ案内看板の原案制作、散策ルートの伐採支障木を原木に使った子ども向けのきのこ栽培体験等を行い、住民自らが実感できるような地域の魅力向上を図ることで、いつまでも住み続けたいという意識を醸成する。 ①きのこ栽培体験3千円 ②ふるさと展望広場の修復2,069千円、見どころ看板制作598千円、散策ルート支障木伐採207千円	2,878	1,935	1,918	従来基準	
木曽地域振興局 計					24 事業	61,234	45,936	45,878		

【再掲】重点支援対象事業

区分	件数	支援額
1.ユースセンターの設置や活動支援	0	0
2.女性リーダーの増加・定着	0	0
3.外国人県民の暮らしやすさ	0	0
4.関係人口の創出拡大	9	16,847
5.先端技術の活用	1	3,960
6.地域公共交通の維持・確保	0	0
7.コミュニティビジネス	0	0
8.地域の担い手の確保	0	0
9.ゼロカーボンの取組	0	0
計	10	20,807
合 計	24	45,878